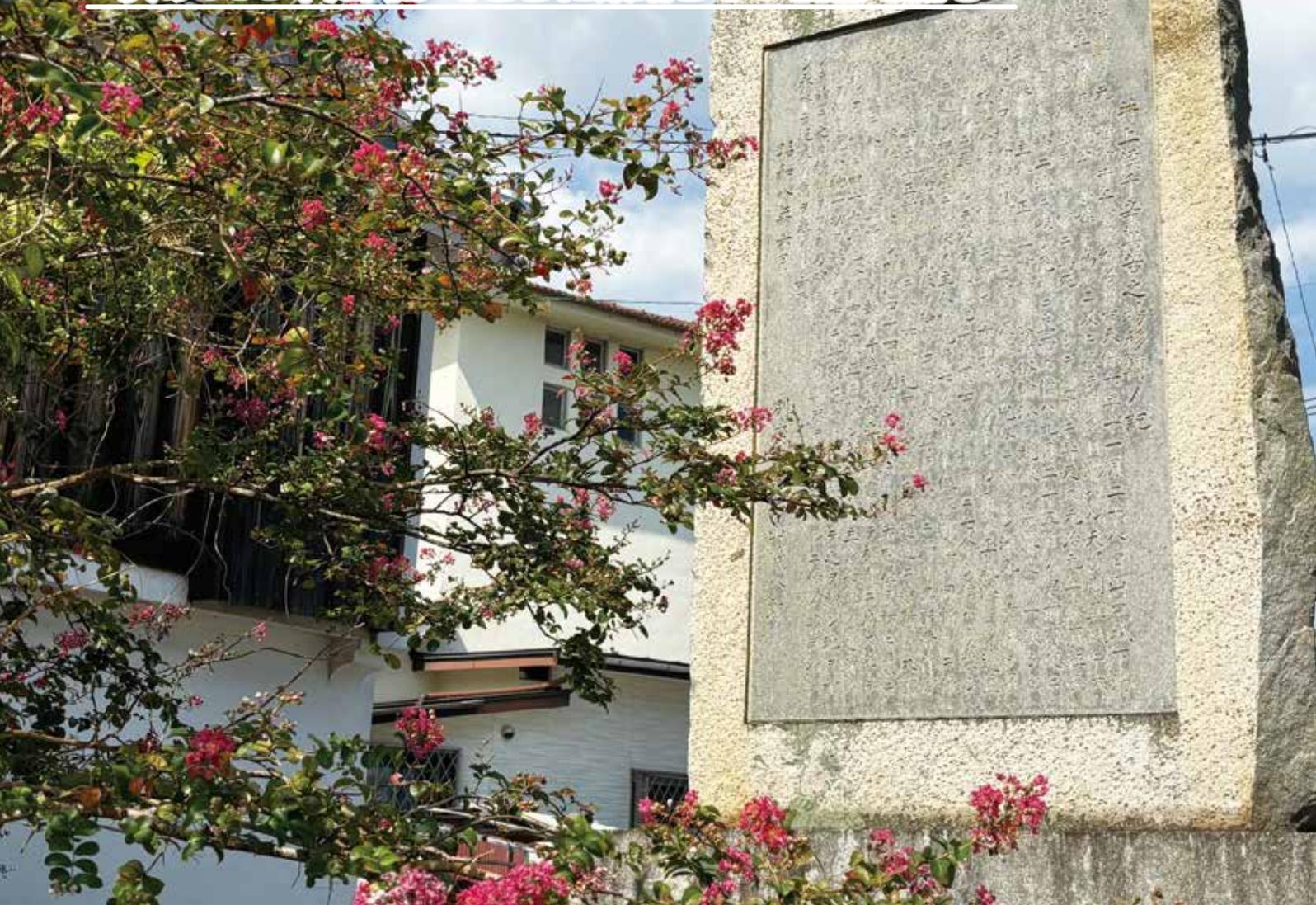


べっぴん 市議会だより

No.174
2024.11.1

BEYOU
100th Anniversary
別府市制100周年

次の100年に向けてさらに素晴らしい別府を創る



CONTENTS

- P 2 主な議案の概要
- P 3 議決結果
- P 4 議案質疑・常任委員会審査
- P 5 予算決算特別委員会（令和5年度決算認定審査）意見書
- P 6～14 一般質問（18名が市政を問う）
- P 15 市議会モニター募集、議会用語の解説
- P 16 編集後記 ほか

～別府100年の歴史を訪ねて～
別府市公会堂 史跡「千辛萬苦之場」の碑
撮影者：別府市議会広報広聴委員会
委員 塩手 悠太



令和6年第3回定例会での28議案を可決！

9月2日から9月25日までの24日間にわたり開催された今定例会では、予算関係4件、条例関係7件、その他12件の議案が上程されました。

また、最終日には市長より追加議案として、人事案件1件、さらに議会より、議員提出議案3件、議員派遣1件が上程されました。

市長提案理由では、クリスマスファンタジアにおいて2万発の花火を打ち上げ、市制100周

年を盛大に盛り上げるための経費や、市内小中学校に避雷設備を整備し、子どもたちの安全を確保するための経費の計上等について説明があり、議案質疑で活発な議論が行われました。

採決においては、6件の議案について一部議員から反対する旨の意思表示がありましたが、いずれも賛成多数で原案のとおり可決等すべきものと決定しました。

～ 主な議案の概要 ～

●別府市一般会計補正予算（第4号）

※表中の金額は、1万円未満の額を切り捨てて表示しています。

観光客誘致・受入に要する経費…………… **2,919万円**

市制100周年を記念して、クリスマスファンタジアにおける花火の規模を拡大します。

小学校の施設整備に要する経費…………… **3,419万円**

中学校の施設整備に要する経費…………… **1,353万円**

市内小中学校に避雷設備を整備することによって、子どもたちの安全を確保し、教育環境の改善を図ります。

（設置箇所） 小学校：鶴見小学校、大平山小学校 中学校：朝日中学校

小学校の施設整備に要する経費…………… **5,020万円**

令和7年度実施予定の朝日幼稚園改修工事に伴い、安全かつ円滑に幼稚園運営を行うため、朝日小学校の旧給食室を改修し、仮設園舎として整備します。

●条例の一部改正

別府市水道事業給水条例及び別府市下水道条例の一部改正について

将来にわたって持続可能な上下水道事業の財政基盤を構築するため、水道料金及び下水道使用料を改定することに伴い、条例を改正します。



第3回定例会における議案等の審議結果など

議案等番号	件名	議決結果	議案等番号	件名	議決結果	
議第75号	令和6年度別府市一般会計補正予算(第4号)	原案可決 (全会一致)	議第89号	令和5年度別府市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定 (全会一致)	
議第76号	令和6年度別府市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)		議第90号	令和5年度別府市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定 (賛成多数)	
議第77号	令和6年度別府市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)		議第91号	令和5年度別府市競輪事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定 (全会一致)	
議第78号	令和6年度別府市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)		議第92号	令和5年度別府市公共用地先行取得事業特別会計歳入歳出決算の認定について		
議第79号	別府市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する条例の一部改正について		議第93号	令和5年度別府市地方卸売市場事業特別会計歳入歳出決算の認定について		
議第80号	別府市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について		議第94号	令和5年度別府市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定 (賛成多数)	
議第81号	別府市ひとり親家庭の医療費の助成に関する条例の一部改正について		議第95号	令和5年度別府市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について		
議第82号	別府市児童館の設置及び管理に関する条例の一部改正について		議第96号	令和5年度別府市水道事業会計決算の認定について		
議第83号	別府市多世代交流健康増進複合施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について		議第97号	令和5年度別府市公共下水道事業会計決算の認定について		
議第84号	別府市国民健康保険条例の一部改正について		議第98号	別府市教育委員会教育長の任命につき議会の同意を求めることについて	同意 (全会一致)	
議第85号	別府市水道事業給水条例及び別府市下水道条例の一部改正について		原案可決 (賛成多数)	議員提出議案第9号	慢性閉塞性肺疾患(COPD)の潜在的な患者に対する適切な対応を求める意見書	原案可決 (全会一致)
議第86号	住居表示を実施する市街地の区域及び当該区域における住居表示の方法について		原案可決 (全会一致)	議員提出議案第10号	地方財政の充実・強化を求める意見書	
議第87号	令和6・7・8年度別府国際コンベンションセンター吊り天井改修工事負担金に関する協定の締結について	議員提出議案第11号		子どもたちにゆたかな学びを保障するために長時間労働是正を求める意見書		
議第88号	大分県後期高齢者医療広域連合規約の変更に関する協議について		議員派遣の件について			

賛否の分かれた議案等賛否一覧表

議案番号	件名	議決結果	会派・議員名																					
			自民新政会							公明党		市民クラブ		創世会		ビーワンべっふ	行財政改革クラブ	新たな別府を創る会	日本共産党	創る未来の会	日本維新の会	有志の会		
			8人							4人		3人		2人		2人	1人	1人	1人	1人	1人	1人		
			山本一成	松川峰三	松川章三	吉富英三郎	小野正明	安部一郎	阿部真一	日名子敦	市原隆二	穴井佳宏	小野佳宏	重松康信	加藤山治	森三重忠	野口哲男	黒木愛一郎	森野裕美	小泉武弘	泉森大輔	美馬恭子	中村悟	石田強
議第85号	別府市水道事業給水条例及び別府市下水道条例の一部改正について	原案可決 (賛成多数)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第90号	令和5年度別府市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定 (賛成多数)	○	○	○	○	除	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第94号	令和5年度別府市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定 (賛成多数)	○	○	○	○	除	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第95号	令和5年度別府市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定 (賛成多数)	○	○	○	○	除	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第96号	令和5年度別府市水道事業会計決算の認定について	認定 (賛成多数)	○	○	○	○	除	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第97号	令和5年度別府市公共下水道事業会計決算の認定について	認定 (賛成多数)	○	○	○	○	除	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○



議案賛成者は「○」、反対者は「×」、退席者は「-」、欠席者は「欠」、議長は「/」(採決に加わらない為)、法律により採決に加われない議案は「除」

(可決された意見書をHPにて、掲載しています)

議案質疑

今定例会の議案質疑では、執行部が提出した令和6年度各会計補正予算や条例などの議案に対し、6名の議員が質疑を行いました。そのうち主な質疑内容を掲載します。

議第75号 令和6年度別府市一般会計補正予算(第4号)

【小学校の施設整備に要する経費について】

【中学校の施設整備に要する経費について】

問 なぜ今避雷設備整備なのか。

答 令和5年8月に大平山小学校に落雷し、校舎建物破損及び電子機器類が故障する事態が発生しました。幸い児童や教職員には人的被害はありませんでしたが、地域の方や保護者からの要望もあり、今後の雷災害に備えるため設置します。

問 避雷設備を小学校2校、中学校1校に整備する理由は。

答 建築基準法で定められた高さ(20m)を超える校舎にはすでに設置しており、総合的に判断して、20m未満でも大平山小学校と同等標高に位置する学校に設置します。

議第85号 別府市水道事業給水条例及び別府市下水道条例の一部改正について

問 上下水道事業の今後の事業計画は。

答 今年の1月1日に発生した能登半島地震の被害でも上下水道施設の復旧は他のライフラインよりもかなり遅れが発生していた印象があります。施設の更新・耐震化は重要な事業であり、今後10年間で水道事業は、施設拡張改良事業、配水管整備事業、基幹施設耐震補強事業などに150億円以上、下水道事業は、管きよ整備事業、処理場整備事業などに100億円以上の費用が必要と試算されています。

問 具体的に上下水道料金はどれくらい上がるのか。

答 モデルとして2か月の使用水量が40m³の場合、現行料金では上下水道料金は1万158円に対し、改定後は1万2,132円と1,974円の値上がりとなります。



(議案質疑の詳細はHPにて掲載しています。)

常任委員会審査

会議での提案者の説明及び質疑が終了した後、さらに検討するため、常任委員会等に議案審査を付託しています。

●総務企画消防委員会

議第86号では、住居表示を実施する市街地の区域及び当該区域における住居表示の方法を定めようとするものとの説明に対し、委員から、公共施設の住居表示と各事業所等への周知について質疑があり、当局から、大字表記のところは、条例等変更をあわせて行い、市のホームページの変更も順次行っている、また、各事業所等への周知については、事前連絡を行い、業者に腕章と身分証明の提示をして各事業所等を訪問するよう伝えており、再度周知徹底していきたい旨の答弁がありました。

●観光建設水道委員会

水道料金及び下水道使用料の改定について、委員より、どのような広報手段で市民に周知していくのかとの質疑があり、当局から、市報、上下水道局広報誌、SNS及びケーブルテレビを活用した広報を検討しているとの説明がありました。さらに、委員から、市民にとって料金改定の話は突如出てきたように感じるのではないかとの意見があり、当局から、今後は適切な広報を行っていききたい旨の答弁がありました。

●厚生環境教育委員会

議第82号では、市内3か所にある児童館のうち、北部児童館及び西部児童館を使用することができる対象年齢を国のガイドラインに沿って、18歳未満の全ての子どもと条例を改正するものであるとの説明がありました。

委員から、利用者数に関する質疑がなされ、令和6年8月は保護者を含め、延べ1,000人利用しているとの答弁がありました。

令和6年予算決算特別委員会（令和5年度決算認定審査）意見書

予算審議と決算審査の循環性を確保するため、予算決算特別委員会を開催し、次年度の当初予算編成に反映するよう、意見書を執行部に提出しました。

1. 経常収支比率について

経常収支比率は、平成28年度以降コロナ禍の令和3年度を除き順調に下がってきたが、令和5年度の経常収支比率は97.1%で、前年度より1.0ポイント上昇している。

財政の硬直化を招くことのないよう、持続可能な財政基盤の強化とともに、限られた資源と人材を最大限活用し、最少の経費で最大の効果が得られるよう十分に検証しながら、行財政運営の適正化及び効率化に向けた更なる取組を進めることを求める。

2. 入湯税超過課税の用途について

入湯税超過課税分の用途については、温泉資源の保護、別府観光の推進のために使うことが必要である。超過課税分充当事業の実施後は審議会の事業評価・意見をもとに、各事業の課題等を明確にし、別府の経済を支える観光振興の魅力向上を図るとともに、市民福祉の増進へつながるよう、さらなる好循環を生む仕組み作りに取り組むことを求める。

3. 重層的支援体制整備事業について

本事業は地域共生社会の実現に向けて、「子ども・高齢・障がい・生活困窮」の関係分野が連携し、市全体で包括的な支援体制を構築することにより、属性や世代を問わない相談支援、参加支援及び地域づくりに向けた3つの支援を一体的に実施するものであり、令和8年度から本格実施の予定となっている。

実施する際は、「子ども・高齢者・障がい者・生活困窮者」が抱える従来の制度だけでは対応が困難な複雑化・複合化した問題に対し、断らない相談支援体制を構築することを求める。

4. 補助及び交付金の公益性、公平性、有効性についての評価と周知

補助事業の実施においては、公益性・公平性・有効性に対する効果検証が重要である。

事業終了後に、成果と目標に対する達成度の評価、公平性を図るための審査、費用対効果の検証に努めることを求める。また、民間事業者対象の補助事業で、新規のものに関しては、補

助制度の丁寧な説明と周知を求める。

5. 人材の確保等について

人口減少・超高齢化社会により、地方行政の人材確保は、より困難になるものと想定される。

特に、子育て支援や介護、学校教育の人材については、専門知識の必要性が増す中で、求められるサービスも増加するものと考えられる。

その必要性を鑑み、正規の専門職の人材確保及び育成充実を図ることを求める。併せて、きめ細やかなサービスを提供するために、関係団体とのネットワークを強化し、相互の情報共有と情報収集が強化される体制の構築を求める。

6. 行財政構造改革の推進について

本市の財政状況は、少子高齢化・人口減少による社会保障費の増大や公債費、公共施設の維持管理固定費の増加等により一層厳しくなると見込まれる。

例えば、市営住宅では築年数の経過した建物において居住者が高齢化しているがエレベーターがない等、大規模改修が必要な状況が生じている。また、市営墓地でも無縁墓の増加等の問題があり、いずれも市が今後も直営維持するのか民間事業を活用するのか検討すべき時期となっている。

行財政構造改革の推進には市民の理解と協力が不可欠である。丁寧な説明や対話を重ねながら本市における行財政運営上の課題解決を図り、新たな施策や臨時の財政需要に対応できる行財政構造の構築に努めるとともに、安定した質の高い行政サービスを提供していくよう引き続き努めることを求める。

【最後に】

最後に、各事務事業を行うにあたっては、事業内容の精査・費用対効果の検証を十分に行い、本意見書及び委員会での意見を令和7年度の当初予算編成に反映することを要望するとともに、予算審議と決算審査の循環性を図るため、令和7年（令和6年度決算認定審査）予算決算特別委員会において、その取組についての回答を求める。

公明党

しげまつ やすひろ
重松 康宏 議員



自民新政会

あべ しんいち
阿部 真一 議員



「介護おむつの補助」について

問 在宅介護にかかる費用の一つにおむつ代があり、毎日使う消耗品である。1枚ずつではそれほど大きな負担ではないように感じられるが、長期的に見るとかなりの経済的負担となる。別府市では、おむつ代の負担軽減のための助成制度はあるのか。

答 別府市では「家族介護用品給付事業」の品目の一つとして紙おむつを支給しています。

問 その「家族介護用品給付事業」について支給要件等の概要は。

答 要介護4または5と認定された65歳以上の方を在宅で介護している市民税非課税世帯の家族に対して、申請があれば介護用品を月額10,000円以内で給付します。給付品目は、紙おむつ、尿取りパッド、清拭剤、防水シート等です。

問 この介護用品支給要件の一つに、要介護4以上とあるが、排泄での介助は要介護2の判定基準の一つになっており、見守りや介助が必要となってくる。さらに要介護3になると食事や排泄は自分一人では行うことが難しく、日常生活にほぼ全面的な介助が必要となる介護レベルである。そのような点からも、要介護4以上という支給要件の基準をもう少し下げてはどうかと思うが、いかがか。

答 団塊の世代が75歳以上となり、様々な問題が生じてくると言われる2025年問題を控え、別府市でも介護サービス等を利用することが多くなると言われる75歳以上高齢者は年々増加傾向にありますので、要介護認定者の今後の推移も見ながら、総合的に判断していきます。

「消防行政」について

問 令和6年の救急出動件数は、8月31日現在で5,919件と昨年比で460件の増加となっており、現場に出動する救急隊員については同様に厳しい環境下で活動されていると思うが、消防職員の熱中症に対しての対策は。

答 消防署員は、夏場の暑い環境下でも防火衣や防火帽を被って活動することから、大きな熱ストレスがかかるため、熱中症対策としてソフト面では、暑さに強い体作りとして「暑熱順化トレーニング」を行い、ハード面では防火衣や感染防止衣の下に冷却ベスト等を入れて夏場の活動を行っています。

問 今後も救急件数の増加傾向が想定される、過酷な環境下で活動する隊員の状況を変えるべく、体制強化・職員の負担軽減についてどのように考えているのか。

答 管轄出動においては、7月16日の指令業務共同運用のタイミングで出動計画を変更し、災害現場に一番近い消防車が出動するように変更しました。また、救急隊は第1出動では火災出動はしなくなり、救急隊の疲労軽減とともに、火災出動中に運用できなかった救急車を確保することが可能となりました。

問 救急隊の増隊は必要と考えるが、救急隊員の増員・職員新規採用はどのように考えているのか。

答 現在救急隊は4隊を運用しています。救急隊1隊増隊については、救急車1台と、救急隊の編成のため最低8名の職員が必要なため、計画的な職員採用を関係課等と調整しています。

ビーワンべっぴ

もり 森 裕二 議員




日本共産党

みま 美馬 恭子 議員




「別府つけ細工」について

問▶ 別府つけ細工の歴史は100年以上あり他に類のない別府独自の伝統工芸であるとの認識をしているが市はどう認識しているか。

答▶ 明治初期から、独自の技術を発展・継承してきた伝統工芸産業であると認識しています。

問▶ 現在、別府つけ細工の職人が少なく、高齢化が進む現状を市としてどう考えるか。

答▶ 事業者の減少が進む中、詳細な実情は把握できていませんが、市内13社で設立された組合は平成17年度に解散し、現在は、任意団体として4社で活動していると聞いています。また、別府つけ細工の伝統技術や文化の継承について危惧しています。

問▶ 高齢化が進み、後継者もいない。それは干支や縁起物の木彫やストラップなどの、販売単価が低いからで、つけのブラシなども作製され、高付加価値化する動きもあるが、このままでは、10年も経てば、100年以上続いた別府の伝統技術は失われ、別府からつけ細工が消えてなくなるのではないかと危惧している。また、市の担当課でさえ実情が把握できておらず、市民の認知度も低い。資料も少なく歴史も曖昧である。別府市制も100周年を迎えた今、別府つけ細工も別府市の歴史の中に残すべきものではないか。この危機的な状況及び、産業の継承について市はどう捉えているか。

答▶ 事業者の販路拡大、開拓に向けた補助事業も実施しており、事業の利用促進を図ります。また、市の公式観光情報 Web サイトへの掲載や、市のふるさと納税返礼品としても登録し PR しています。市民や観光客に認知されるよう周知に努めます。さらに、つけ産業の実情を把握するため、実態調査や関係者との意見交換にも取り組んでまいります。

「上下水道料金の値上げ」について

問▶ 今回の上下水道料金の改定理由は。

答▶ 上下水道局は、別府市上下水道料金あり方検討委員会の答申を受け、上下水道料金の改定について検討を行っています。答申では公共下水道事業会計の収支状況については早急な改善が必要なことや、人口の減少に伴い収益は減少傾向の中、水道事業及び公共下水道事業共に施設の更新や耐震化など建設改良費の財源確保が厳しい状況であることなどが挙げられています。これらの指摘事項について検討を行い、料金の改定を決定しました。

問▶ 地方公営企業繰出金についての総務省通知にある「災害・安全対策事業に係る事業費」の繰出しを過去に受けたことがあるか。

答▶ 「災害・安全対策事業に係る事業費」とは、水道施設の耐震化のように施設をより強固な物に更新する経費のことで、その財源の全てに水道料金を充てることは適当でない判断された経費になります。この経費については、事業の内容により一般会計から繰り出しが決められています。令和5年度においては、4,022万2,000円の繰出しに該当する経費がありますが、繰出しには至っていません。また、これまでも同様の該当する経費はありましたが、繰出しは行われていません。

問▶ 一世帯あたりの値上げ額は。

答▶ モデルとして、2ヶ月の使用水量が40m³の場合、現行料金では水道料金が5,848円、下水道使用料が4,310円、併せて1万1,588円、改定後は水道料金6,690円、下水道使用料5,442円で併せて1万2,132円、1,974円の値上がりとなります。

公明党

あな い こう じ
穴井 宏二 議員



日本維新の会

い し だ つよ し
石田 強 議員



「電子地域通貨の各地域の状況と別府市の考え方」について

問 別府市ではこれまでプレミアム商品券事業などを実施し、昨年度デジタル商品券を導入しており、将来的な展開として、デジタル地域通貨の導入を見越していると思うが、そのメリット、デメリットについての認識は。

答 デジタル地域通貨は、2017年に飛騨高山地域の「さるぼぼコイン」が開始され、九州内では南島原市の「MINA コイン」、延岡市、八女市など、各地域で行政ポイントとの併用につなげる取組を行っています。県内では玖珠町が導入に向けた準備を進めています。デジタル通貨導入のメリットとしては、通貨の域内循環による「地域経済の活性化」や「観光・地域外流入促進」、地域ポイント制度によるボランティア活動などの「コミュニティ活性化」のほか、利用実績の分析による経済活動の「見える化」によりデータの活用が可能になることなどが挙げられます。

一方、デメリットとしては、スマートフォンの利用者でなければデジタル通貨の利用ができないこと、取扱店舗や利用者が一定数いないとランニングコストを賄うことができなくなることなどが挙げられます。

問 玖珠町では高齢者に配慮して専用のカードでバスやタクシーの支払いでも使えるようにすると言われているが、デジタル地域通貨の導入に向けての別府市の考えと今後の方針は。

答 今年度、別府市におけるデジタル地域通貨の導入可能性調査を行う中で、全国の先行事例の詳細な調査を行うほか、別府市で導入する場合の持続可能で最適な運営モデルや仕組みなどを提案してもらうことで、今後の展開に活かしていく予定です。

「別府市の豪雨・避難所」について

問 1月に珠洲市にボランティアで行った。珠洲市は人口12,000人で避難所は25か所あったが、別府市はどれくらいか。

答 令和6年9月1日現在で、収容避難所42か所、想定収容人数20,643人（1人あたり2㎡）、一時避難所83か所、想定収容人数641,560人（1人あたり1㎡）となっております。

問 道路側溝や水路などに枯葉や枝が詰まって、水が溢れている場所も見受けられた。これら排水構造物の維持管理はどのように行っているのか。

答 水路などの流入口に、スクリーンと呼ばれる柵を設置して、定期的に清掃をしています。側溝には落葉や枝が詰まらないように、路面清掃や路上に張り出した木の剪定なども行っています。しかし台風などの大雨では上流からの枝葉などが大量に流れてきて、側溝などを閉塞することがあります。パトロールや通報により確認した場合は早急に詰まりを解消するように対応しています。

問 災害時に高齢者に情報が届きにくい。別府市公式ライン以外に何かあるのか。

答 情報発信の方法としましては、別府市公式ホームページやフェイスブックを用いています。また、テレビ等の各種メディアには、災害対応支援システムを介して避難情報等を送信しています。例えば、テレビでは画面の縁に字幕のように表示されるほか、データ放送でも確認できます。

問 台風・豪雨時に高齢者は避難が困難であり、対策などはあるのか。

答 避難に時間がかかる要配慮者に対しましては、「高齢者等避難」を早めに発令し、避難時間の確保を図っています。防災訓練等でも早めの避難や周囲との協力体制などについて周知を図っています。

公明党

おの けいこ
小野 佳子 議員



「高齢者の移動手段」について

問 高齢者が外出する事は、体力や筋肉がつくので運動機能の維持向上につながり、認知機能の低下やうつ病の予防になる。高齢者の外出を容易にし、高齢者が孤独にならないように社会参加の拡大や、健康増進に向けて、高齢者の移動手段としての取組や支援はあるのか。

答 高齢者の社会参加の促進に資するために「ひとまもり・お出かけ支援事業」としてバス回数券の販売購入費（2,100円のバスチケットを1,000円で購入）の助成を行なっています。

問 最近よく街中で見かけるシニアカーは、歩行が困難になった方や体力的に長い時間歩けなくなった高齢者をサポートする乗り物として活躍が期待されている。別府市では、介護受給者の利用が可能だが、対象者、また利用状況と現状は。

答 介護保険サービスにおける、福祉用具として車椅子、電動車椅子と共に、原則要介護2以上の方を対象にシニアカーのレンタルを行っています。6月時点で約26台、比較的軽度の要介護認定者の利用となっています。

問 対象者が要介護2以上になると、利用者は制限される。他市では、シニアカー購入に対してある一定の年齢以上の方を対象に、購入費の助成を行なっている。事業の目的は、歩行に不安がある高齢者の外出を行いやすくし、社会参加の拡大および健康増進を支援するものである。別府市でもシニアカー購入費への助成の考えは。

答 ライドシェア、インターネット等の宅配といった買い物支援も更に進んでいきます。安全面等も考え、シニアカーの助成については、慎重に考慮すべきと思います。高齢者の福祉支援として、あらゆる方策を様々な視点で考えていき、今後鋭意研究してまいります。

自民新公会

あべ いちろう
安部 一郎 議員



「別府市の商業環境」について

問 オーバーストア・オーバールーム状態についてどのように考えているか。とくに宿泊業界では、従業員不足、リネン・メンテナンス会社の不足と値上げによる経営の圧迫等々様々な問題が起こっている。商業振興に対応と対策をとるべきだが。

答 今後も事業者事業者と情報共有し、関係機関とも連携しながら取り組んでまいります。

問 市内には、市民の皆さんが交流する場所やイベントを開催する場所、生涯学習のための講座や教室等を開催する場所が少なく、不足していると聞いている。トキハ別府店の空きスペースを市が借上げて、市民に使用してもらうことはできないか。

答 イベントや講座、教室等を開催するスペースについては、確保できていると考えています。利用者が多い土日・祝日等で不足しているケースがあるかどうか確認します。中心市街地の活性化を図るための、行政による支援の在り方については、調査・研究します。

問 今年1月に開催された「べっぷせんべろフェスタ」について、非常に良いイベントだと思っている。各店舗で新規客が増え、定着しているとも聞く。ここで終わるのはとても残念に思うが、引き続き開催できないか。

答 商店街関係者等との意見交換が必要です。

問 春木川公園東側エリアの最終計画でできる予定の施設の説明を。

答 一階はスーパーマーケット、二階部分が人工芝のグラウンド。クラブハウスの建物の中には売店、リハビリテーション用運動施設、多目的スタジオ、教養施設として放課後等デイサービスが入ります。駐車場は全体で175台の計画です。

交通渋滞が心配だ。十分な配慮を。

市民クラブ

もりやま よしはる
森山 義治 議員



自民新政会

まつかわ しょうそう
松川 章三 議員



「防災対策と公共交通活性化協議会」 について

問 今後南海トラフ地震など大災害が発生した場合、別府公園や北石垣公園などに市民が避難する。その場合、平常時は憩いのベンチとして使用し、いざという時に誰でも使えるコンクリートなどを活用したかまどベンチの設置をしていただきたいが見解は。

答 現在、別府市が管理している公園においてかまどベンチはありませんが、今後は公園の改修時期に併せてかまどベンチの設置及び鍋等の管理などあらゆる対応について前向きに検討していきます。

問 別府市に襲来した台風10号は浜脇の浦田、内成、枝郷、東山など山間地域に大きな被害をもたらしました。現在、大分県が鶴見岳や朝見川の水位観測などしているが、今後、台風や大雨による人的災害から人命を守るための備えが必要と考える。別府市独自で山間地域を始め、雨量計を市内数か所に設置し、そのデータをパソコンに取り入れて市民に情報を流すことにより、危険性をいち早く判断し、早めの避難指示を可能とする雨量観測システムの導入についての見解は。

答 現在、雨量に関しては大分地方気象台からの予測情報をもとに土砂災害警戒区域を中心に雨量に応じた避難指示を発令、また、一斉情報伝達サービスメールを通じて更なる情報収集体制を強化しています。雨量観測システム導入についても前向きに調査研究していきます。

問 別府市公共交通活性化協議会が令和6年度に書面会議を含め5回開催されているが傍聴できない事もある。その理由は。

答 原則として公開するものですが、議事において自由な発言が阻害されるなど一定の理由がある場合は非公開です。

「鉄輪地域の現状」について

問 鉄輪地域の現状を見てみると、空き家、空き地、空き店舗が多くなってきている。泉源の管理も個人ではできないような状況になりつつあり、温泉管等も昔は簡単に配管できていたが、今では許可が出ないようなところもある。石畳の石は割れ、道路に造られている温泉共同ボックスも、掃除がしづらいと聞いている。別府観光の入り口であり、別府観光の顔である鉄輪に、観光客を温かく迎え入れるためには、もう一度鉄輪をリニューアルする時期に来ているのではないかと思っている。特に温泉の集中管理は喫緊の課題であると思うが、市長の考えを伺いたい。

答 平成22年にまちづくり交付金事業が完了しており、当時、鉄輪の街が生まれ変わっていくのを目の当たりにしてきた一人です。

別府観光の中心が鉄輪であるという事は、当然皆思っています。観光客が街中を観光するには、どういう風なモビリティを使った観光をしていただくかという事も、一つの大きな課題だと思っています。また温泉の確保は、事業をされている方や市民、観光客の皆様にとっても生命線だという思いがあります。別府市全体を網掛けする温泉マネジメント計画がありますが、一気にできないため、まず鉄輪地区を先行的にしてみようかという思いもあります。鉄輪にはすごい可能性があり、鉄輪ホテル旅館組合が一本化されたという報告もあるので、皆様から鉄輪をどういう風に発展させていきたいのか話を聞きながら、国にも話はしていますが、大きな力をいただかなければならないと思っています。住民の意思を尊重しながら、どういう風な街を作っていくかという事を一緒になって考えていき、温泉の管理等も踏まえてやっていければと思っています。

創る未来の会

なかむら
中村

さとる
悟 議員



新たな別府を創る会

もり
森

だいすけ
大輔 議員



「学校給食の喫食時間」について

問 先般、私の一般質問において学校給食の喫食時間が適正かどうか児童生徒にアンケートを実施してほしいと要望し、その後実施したアンケートの結果等について伺う。

答 市内全小中学校の児童生徒を対象に11項目で実施し、喫食時間は、小学生はちょうど良いが62.4%と最も多く、短い29.7%、長い7.9%、中学生はちょうど良いが44.5%、短い53.4%、長い2.2%でした。

問 特筆すべきは中学生で短いと答えた生徒が53.4%いるということである。過半数以上が短いと感じている結果が出ている。短いと回答している現状で給食指導目標を達成できていると言えるのか。

答 給食指導は準備から後片付けまでの一連の指導を、実際の活動を通して行う教育活動です。給食の時間の設定に当たってはゆとりを持った時間の確保が必要と考えます。

問 給食を完食して初めて文部科学省が定めた「年齢に合わせた栄養摂取基準」に達するわけであるが、喫食時間が増えれば残食が減る。別府市の児童生徒数は令和5年時点で7,213人いる。今回のアンケート結果をきっかけに、喫食時間について見直し点検をすることを要望する。私の元にも多くの児童生徒さんから喫食時間が短くて給食を毎回残してしまうと言う声が届いている。教育委員会として、各校長先生に校長会等を通じて周知と問題提起をしていただくことを要望する。

答 きちんと摂取することで、健康の保持増進や体力の向上等が期待されることから、「喫食時間の確保」は、非常に重要であると捉えています。適切な喫食時間確保の実現に向け、各学校に対し、市教委が指導してまいります。

「新たな別府の創生に向けて」

問 別府市の健康寿命は大分県内の18市町村中、15位前後を推移している。別府市の健康寿命を縮める要因は。

答 別府市としても、危機感を持ち健康寿命の延伸に取り組んでいます。また、メタボリックシンドロームの該当者が多いことや生活習慣病の重症化などが健康寿命を短くする要因だと考えています。

問 メタボの発症率と相関関係にある塩分摂取量、野菜摂取量、運動習慣等の生活習慣の改善が求められているが、物価高などの影響で、野菜の摂取量の減少、食事の偏食等、多くの市民の健康が損なわれる状況を危惧している。そこで、別府市の健活ポイント事業などを通して、市民の野菜摂取の推進や別府市産の農作物の地産地消の促進、域内経済循環の実現に向けた取組ができないのか。

答 ポイントの商品交換については、健康増進により効果的になるよう様々な事情を考慮し、調査研究してまいります。

問 日々の生活の移動に不便を感じる地域に住む全ての市民に、公共ライドシェアなどを活用した移動手段の充実が求められている。南部や亀川地域、そして扇山や南立石などの西部地域へと新たな移動支援を充実していただきたい。

答 西部地域に特化した話ではありませんが、市民ニーズの把握に努め、改善が必要な地域については新たな移動手段を推進してまいります。

問 別府市の人口減少は想定以上の速さで進み、このままでは2035年には人口10万人を下回ると想定される。人口減少に歯止めをかけるには、今後具体的にどのように取り組んでいくのか。

答 引き続き総合戦略の施策に取り組んでまいります。



『上下水道料金改定』について

問 上下水道の維持管理や更新費用を確保し、安心・安全な水を安定的に提供し、大切な水を守るのは上下水道事業者の責務である。今や生活や産業に当たり前の存在になっている上下水道だが、能登半島地震では長期の断水が生じるなど、いざという時のリスクが顕在化しつつある中、上下水道施設を継続的に維持管理することが求められている。別府市の将来推計人口が2020年の約11万5千人から2050年の約8万4千人と27%減が予測されており、人口減による使用水量や利用収入が減少し、財源確保が厳しい状況の中、施設の更新や耐震化のための料金改定の必要性については。

答 上下水道料金あり方検討委員会の答申にもありましたように、上下水道業を取巻く状況は、人口の減少に伴い収益も減少傾向にある中で、老朽化した上下水道施設の更新や耐震化に多額の財源が必要となっています。今年初めの能登半島地震では、上下水道施設に甚大な被害が発生し、日常生活への復旧の障害となっていたことから、上下水道施設の重要性を再認識させられたところです。財源不足を理由に、水道施設の更新や耐震化が遅れることは、ライフラインを担う事業者としての使命を果たさないことだと考えています。これからも、利用者の方に安全な水を安定してお届けしていくために、財源を確保し、水道施設の耐震化等を進めていくことは事業者の責務です。そのために、今回の上下水道料金の改定は、施設の更新や耐震化を推進する上で、とても重要なことだと考えています。

市民生活が厳しい中、料金改定をしなければならぬ理由を、利用者に丁寧な説明をしていただきたい。

『どうする別府の観光振興』

問 人口減少で観光客の減少は避けられない。今後、外国人観光客依存が高くなるが誘致の基本戦略は。

答 外国人観光客が大きく停滞した時期に策定した戦略ですが、消費単価の上がる欧・米・豪の部分と東アジアに偏重していた部分を多角化して、東南アジア等を含めたインバウンド戦略を策定しています。

問 外国人観光客は韓国・台湾・中国・香港が中心となっており、ASEAN（東南アジア諸国連合10か国）も将来大変期待できる市場と考えるが。

答 ASEANの方々に対して、消費単価が高い観光商品をしっかり示して、効果的な誘客をするといった戦略を立てていくことが重要だと考えています。

問 ASEANは人口約6億でEUを超えている。特に10か国中6か国（インドネシア、マレーシア、タイ、フィリピン、ベトナム、シンガポール）は特に経済成長率が高い。一方、人口構成は、働く世代が多く訪日観光客の増加が期待できる地域である。この地域に対する観光客誘致を積極的に取り組むべきでは。

答 ASEANは今後も成長が著しい地域であるため、B-biz LINKと協議しながらしっかりと観光戦略を考えてまいります。

問 観光消費を伸ばすには宿泊客の滞在日数を増やす施策が必要、「温泉を活用した健康づくり構想」の進捗状況は。

答 近々、皆様に御報告できると考えています。

有志の会

しおて ゆうた
塩手 悠太 議員



創世会

のくち てつお
野口 哲男 議員



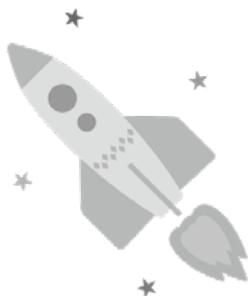
「別府市総合計画 ～新しい産業開拓 宇宙産業～」について

問▶ 別府を深化させていくためには既存の産業構造の変革が必要である。温泉資源を基にした観光分野の更なる向上も重要であるが、それ以上に新しい産業の開拓がカギを握ると考える。しかし、その際に留意しなければならないことは競争原理が働いている分野との関係性であり、民業圧迫等につながらないような配慮をしなければならないと思う。それらを考慮した際に、別府市で考えられる新しい産業は「宇宙産業」だと至った。市内であまり競争原理が働いてなく、かつ、市場の成長も見込め、国も県も力を入れている分野である。20年後には当たり前になっているであろう「宇宙産業」についての見解は。

答▶ 誘致できる敷地も無いため製造業等の誘致は困難です。やはり、まずは温泉を中心とした観光分野における「新湯治・ウェルネス」や「食と観光」の取組を進めることが現実的な取組であると考えます。ただ、国・県及び宇宙関連産業の動きは注視していきます。

問▶ 中長期での取組であり、段階的に進めていくことが重要だと考えるが、その一つに宇宙分野の人材育成があると思う。「別府出身の宇宙飛行士が別府の企業が参画したロケットに乗って別府の温泉を宇宙に届ける」というような大きなビジョンを掲げることが必要である。そのためには、令和4年度の人材育成の事業（講座等）を復活させることも考えてはいかかがか。

答▶ 国・県及び宇宙関連産業の動きに注視し、調査・研究していきます。



「観光行政」について

問▶ 国はコロナ禍後の経済成長戦略の中核と位置付け「観光立国推進基本計画（第4次）」を発表した。特に地方公共団体は①国内外から旅行者を歓迎する町作りに取り組むこと②DMOに対して積極的な参画連携支援を行い③関係部局間の緊密な連携や地域間の連携協力等の推進を図ること等が示され、別府市の追い風となるものである。全国の自治体では従来にない新たな戦略が求められており、稼ぐ・儲かる観光の仕組みを作ることが重要で関係者の巻き込み、内外の人財やノウハウの取り込み、データの収集、戦略の策定、ブランド力を高める仕組み作り、プロモーションの確立等に積極的に取り組むことであり、別府市の新湯治ウェルネスとはメディカル（ヘルス）ビューティーウェルネスを本質と捉え、さらに活発な観光振興を図るため、地域全体の目線を揃えた共通の目標設定と組織ごとの役割分担を進め、観光を成長の柱として、住んでよし訪れてよしの他にない観光地づくりが重要である。今後100年の大計を以て、観光行政の確立を計らなければならないが、そのための財源の確保も重要である。見解は。

答▶ 観光は成長戦略の柱、地域活性化の切札であり、観光資源の更なる磨き上げと市民生活の調和を確保し、稼ぐ力を増強し、住民福祉へ還元させ市民の幸福感が高まる施策を推進している。観光客数は今後急激に伸びることは難しく、客数を追うだけではなく稼ぐ・儲かる観光の仕組み作り、平日の宿泊客数を伸ばし、高付加価値化を進め観光消費額を上げていく。財源確保は重要な課題であり今後更に研究を行い、安定財源確保と有効活用に努める。これからの100年に向け観光産業を発展させ観光で稼ぎ、その分で住民福祉に還元し、最終的に市民の幸福感を高めて行くことが行政の使命であると考えている。

公明党

いちばら たかお
市原 隆生 議員



自民新国会

よしとみえいざぶろう
吉富英三郎 議員



「放課後等デイサービス」について

問 障がいのある小学生から高校生までの児童・生徒が、放課後や長期休暇などに通所して生活能力向上に必要な訓練を行う放課後等デイサービスの別府市内の現状については、6月末時点で34事業所、8月末時点での利用者が小学生で330人、中・高生で150人との報告をいただいた。小学生の利用者が全体の3分の2と多い状況もあると思うが、「中・高生に対する指導員の関わり方が少ない」という声を聞いた。実際の状況はどうか。

答 中・高生は学校の終業が小学生に比べて遅く、放課後等デイサービスで過ごす時間が少ないということもあります。また、一概には言えないものの、自分でできることも増え、あまり干渉されたくないと感じる利用者もいるとのこと。関係事業所からは、小・中・高生と一緒に物づくり等の作業や様々な体験、遊びを行っている等の活動報告もあります。利用者一人一人の異なる特性に真摯に向き合い、個々の状況に応じた対応がなされているものと考えています。

ホームページ上で「子ども支援のご案内」として毎年度、各事業所の特色や提供サービス等を公開していますので、利用者の特性に合った事業所を選ぶことができます。

問 市内の事業所の数は充実しているように思う。そこで事業者にもこの利用者のニーズを理解していただき「中・高生に特化した事業所」の開設ができないものか。

答 法令等により利用者の対象は学校に就学している障がい児、とされています。中・高生は放課後の時間が小学生と比べると、やはり短いと思われませんが、どのようなサービスが提供できるかについては、事業者の経営方針に委ねたいと考えています。

「無縁遺体」について

問 引き取り手のない「無縁遺体」が全国でも増加している。別府市においてもここ数年増加傾向にあり、何らかの対策が必要と考える。人生の最後を安心して暮らし、『終活』出来るよう別府市としてどの様に考えているか。

答 市社協が『べっぶ終活あんしんサポート事業』を実施していますが、別府市としても誰も孤立させない地域社会を目指し、その人らしい生活を安心して送ることができ、個人の尊厳を大切に視点を市としての対応に努めてまいります。

「春木川公園整備事業」について

問 春木川公園（スーパーマーケット&サッカーグラウンド）がオープンすると周辺の車両混雑が予想される。地域住民が安全に歩いて公園を利用できるよう周辺の地域環境整備をする必要があると考えるが別府市としてどの様に考えているか。

答 春木川公園整備事業は周辺にお住まいの方々の日常生活をサポートしていく側面を持っていると認識しています。そうしたことから、その地域環境についても現状やニーズ把握に努めてまいります。



市議会モニターを募集します

応募期限：11月15日（金）まで

別府市議会では、議会の裾野を広げる取組の一環として、多様な広報広聴手段を活用し、議会及び市政への関心を高めるとともに、いただいたご意見等を議会改革などの議会活動につなげるため、今年度は若年層に特化した市議会モニターを募集します。

- ◇**応募資格** 議会運営に関心がある満18歳以上満28歳未満の市内に在住、在勤または在学の人（公務員・議員は除く）
- ◇**募集人数** 若干名
- ◇**委嘱期間** 委嘱の日から令和7年3月31日
- ◇**活動内容** 本会議等を傍聴し、議会運営に関する意見書の提出や市議会議員との意見交換等（傍聴はケーブルテレビでの放送やインターネットでの配信も含め都合のつく範囲で結構です。）
- ◇**応募方法** 任意の様式で①住所②氏名③年齢④電話番号を明記の上、郵送・FAX・メール等で下記までご応募ください。
詳細につきましては、別府市議会ホームページをご覧ください。
<https://www.city.beppu.oita.jp/gikai/>
- ◇**お問い合わせ** 別府市議会事務局
〒874-8511 別府市上野口町1番15号
TEL：0977-21-1547 FAX：0977-23-9800 E-mail：sec-cc@city.beppu.lg.jp



議会用語の解説について

「予算決算特別委員会」ってなに？

予算審査と決算認定審査の循環性を図るため、新年度予算に関する議案及び、前年度決算認定議案について、総合的な審査又は調査を行うことを目的とした全議員からなる委員会です。

「予算審査」とは？

市長（執行部）が税金などのお金の使い方をまとめた予算案に対して、質疑を行い内容の審査をすることです。（※承認されないこともあります。）

「決算審査」とは？

前年度に執行された事業の結果（進め方）やお金の使い方が適切か審査をすることです。（※認定されないこともあります。）

「決算審査の意義」とは？

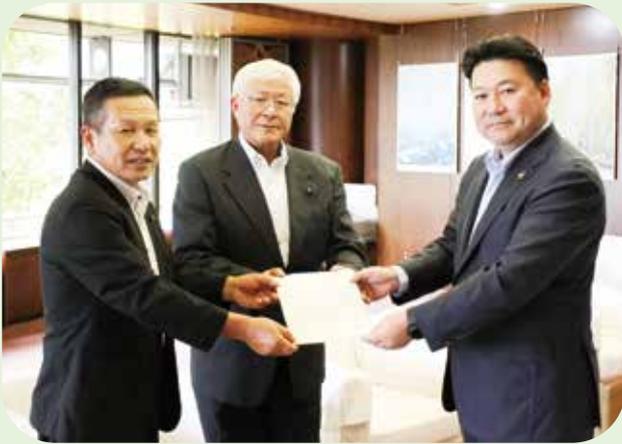
決算審査は、市長（執行部）から提出され議会から承認された予算について、具体的にどのようなお金の使い方がされたのかを審査し認定します。

既に使われたお金の審査ですが、不適切な事業や非効率なものを明らかにして、次の予算編成（お金の使い方）に反映させることができる非常に重要な審査となっています。



予算決算特別委員会

市長へ意見書を提出しました



長野市長に意見書を提出する加藤議長、市原委員長

予算決算特別委員会では、当初予算審議と決算認定審査の循環性を図るため、委員会においてとりまとめを行った改善提案等を本委員会の意見書として市長に提出し、令和7年度の当初予算編成に反映することを要望しました。

また、次回の委員会において、その取組についての回答を提出するよう求めました。

別府市議会では、市民の皆さまに議会をより身近に感じていただけるよう、ケーブルテレビとインターネット、スマートフォン、タブレット端末による本会議の生中継と録画中継による本会議の放送を行っています。



放送日時
本会議開催日（午前10時から）

放送内容
議案の提案理由説明、議案質疑、一般質問など

放送メディア
ケーブルテレビでの中継
CTBメディアとんぼチャンネルで生中継します。

インターネットでの中継
別府市議会ホームページ
<https://www.city.beppu.oita.jp/gikai/>

本会議を
中継しています



© Team Beppyon

請願・陳情

どなたでも市議会に請願・陳情することができます。請願とは、国や県・市に対し要望や意見を述べることをいいます。別府市議会に請願書を提出するには別府市議会議員の紹介が必要になります。

詳しくは別府市議会ホームページをご覧ください。また、議会事務局までお問合せください。

なお、令和6年第4回定例会の請願の受付期限は11月22日（金）17時までです。

令和6年第4回市議会 定例会会期日程（予定）

- 12月3日 議案上程
- 6日 議案質疑・委員会付託
- 9日 常任委員会審査
- 10～13日 一般質問
- 17日 委員長報告、討論、表決

※日程は変更することがあります。

今夏最強クラスと言われる台風10号は、九州を横切り県下に大きな爪痕を残していきました。市内においても土砂崩れや床上床下浸水、田んぼの畦や水路の崩壊、道路の寸断等で孤立状態になるなど、大きな被害をもたらしています。被害に遭われた皆様方には心よりお見舞いを申し上げますとともに、議会としても執行部と協力して、復旧に全力で取り組む所存です。

さて広報広聴委員会では、別府市の将来を担う子どもたちに市議会のことをもっとよく知ってもらい、興味を持ってもらうために、子ども向けホームページの作成に取りかかっています。子どもたちにとってどのような表現方法がいいのか、どのような字体がいいのか、委員全員が子どもの気持ちになって頭を絞っており、素晴らしいホームページ作成のために頑張っています。出来上がりをご期待ください。



編集後記



別府市議会広報広聴委員会

委員 松川 章二